

脳卒中センターとしての取り組み

一次脳卒中センターコア病院(PSC core 病院)として

急性脳主幹動脈閉塞に対し血栓回収療法が標準治療となり、治療可能な施設に適切に搬送することが脳卒中救急の課題となっています。日本脳卒中学会により新しい施設基準が設けられ、当院は一次脳卒中センター病院(PSC)の中でも中核となる『一次脳卒中センターコア病院(PSC core 病院)』^{※1}として認定されました。2024年4月時点では神戸市内で6病院(中央区3、兵庫区1、北区1、垂水区1)のみが認定施設となっています。

『一次脳卒中コア病院(PSC core 病院)』の要件

- rt-PA 静注療法に加えて機械的血栓回収療法の治療実績や診療体制をもとに常時(24時間365日)機械的血栓回収療法が実施できること
- 機械的血栓回収療法を実施できない施設から常に受け入れが可能であることなど

当院は地域の総合的な脳卒中センターとしての役割を担っています

※1 「一次脳卒中センター(PSC)コア」認定について

認定基準：一次脳卒中センター(PSC)コアは下記の5項目をみたすことが求められる

1. 一次脳卒中センター(PSC)に認定されていること
2. 日本脳神経血管内治療学会の脳血管内治療専門医と3学会認定の脳血栓回収療法実施医が合計して常勤3名以上であること
3. 血栓回収治療実績が年間12例以上であること
4. 自施設において24H/7Dで血栓回収治療に対応可能であること
5. 脳卒中相談窓口を設置すること